令和７年度第１回 蓮田市総合文化会館運営協議会 議事録

※　発言内容については、その要旨を掲載しています。ただし、発言そのものの記載ではありません。

開催日時	令和７年８月４日（月）午後５時～午後６時３７分
開催場所	ハストピア　ギャラリー
出席者	会　　長　山田　正恵 副会長　塚本 聖子 委　　員　栗原　均 委　　員　松本　直大 委　　員　関根　勇介 委　　員　関口　茂 委　　員　関根　正昌 委　　員　栗原　尚孝 委　　員　渡辺　弘 委　　員　新津　きよみ 事務局　山口　京子　市長 清野　哲　生涯学習部長 文化スポーツ課　課長　井元　望 主幹　野村　知代 主査　今井　由美子
	会議の概要 資料の確認 次第 蓮田市総合文化会館運営協議会委員名簿 蓮田市総合文化会館運営協議会設置要綱 ハストピア運営状況について ・貸館事業 令和６年度稼働率（集計） 令和６年度使用料 ・自主事業 令和６年度ハストピア事業報告 令和７年度ハストピア事業実施状況 令和８年度ハストピア事業計画（案） 令和６年度第３回蓮田市総合文化会館運営協議会　議事録（案） 〈当日配布資料〉 ・今後文化イベントのチラシ　他 １.開会　井元課長 ２.あいさつ　山口市長 ３.委員の委嘱　清野生涯学習部長

	４.役員選出・選任 委員の互選により、会長：山田　正恵、副会長：塚本 聖子 ５.議事 （１）ハストピア運営状況について ・令和６年度事業報告及び事業評価 （事務局）・総合文化会館貸館事業の説明 （会長） 稼働率 50%は「良い方」であると評価。利用者数の増加を踏まえれば「A 評価」も妥当と考えられる。しかし、平日の利用については工夫と課題が必要であると指摘。以上を踏まえ、最終的には「B 評価」が適切との見解を示した。 （委員）同意 委員から異議はなく、「B 評価」で了承。 （会長） 運営協議会として令和６年度の評価を「B」と決定。 （事務局）・総合文化会館自主事業の説明 （委員） 「協定方式」について質問。 （事務局） 自主事業を毎月１つ程度計画すると、市の予算だけでは委託料が不足するため、契約方式：委託料を運営会社へ支払い事業を実施。協定方式：館と事業者が共同開催する形。協定方式の内容：館の使用料は無料。館は公演の周知（プログラム・ポスター・チラシ等）を支援。代わりに、チケット販売収入の一定割合（通常 10%、団体によっては 5%）を館の収入とする。実績として、東京混声合唱団や昭和歌謡コンサートなどがこの協定方式で開催。この方式により、多くの自主事業を継続的に実施可能となっている。 （会長）補足 団体ごとに協定を結び、賛同団体と共同開催する仕組みであることを確認。 （委員） 自主事業の平日の稼働率を上げるのは難しいと感じている。一方で貸館事業は市民のために活用されており、施設を市民と一体で守る必要がある。運営費もかかるため、平日の利用促進の具体的なアプローチについて質問。音楽系の利用が多いと聞いているが、他に取り組みはあるか確認。 （事務局） 平日のホール稼働率（特に月曜から木曜）は稼働率は低い。夜公演や寄席などの企画を検討しているが、現状は中学校吹奏楽部の練習が多い。土日は貸館利用が多く、昨年度は映画撮影で収入増加の事例もあった。平日の利用促進策として、和室・創作ルーム・ギャラリーなど諸室で小規模講座を企画中。 （会長） アクセス面（駅から遠い、シャトルバス利用等）が課題。自主事業は土日祝日に偏っている。平日の利用促進は今後の大きな課題。 （委員） 乳幼児・児童向け事業は赤字でも毎年継続を希望。子どもが「一人でも行きたい」と思えるような工夫を望む。 （会長） 自主事業は休日・祝日に限られていたが、伊奈学園生徒による演奏会、落語、バ

	イオリンコンサートなど多様な催しが実施されたと振り返り。これらを踏まえ、事務局の判断「B 評価」を支持。 （委員）同意 委員から異議はなく、「B 評価」で了承。 （会長） 運営協議会として令和６年度の評価を「B」と決定。 ・令和７年度事業実施状況 （事務局）・令和７年度ハストピア事業実施状況の説明 （事務局） 「彩恐酔夜」はユーチューバー城谷歩氏と島田秀平氏による怪談企画。交渉の都合で日程を設定し、今回が初めての試み。昭和歌謡コンサートチケットは、前回公演時に次回分を先行販売。コアなファンが熱心に参加し、遠方から来場。毎年増加傾向。蓮田駅からのシャトルバスは満員。市外・県外からの来場者も多数。協定方式で会社側から提案され、全国各地で実績あり。現在は「昭和カルテット」によるコンサートに集約。東京混声合唱団特別公演については、教育長の意向を踏まえ、今年度初めての企画として中学校を選定中。舞台で合唱団と共演できる人数を調整。 （委員） 事業委託料・収支について、黒字化を目指すべきとの意見。委託料交渉により収支改善を図るべき。 （事務局） 公演によってプロモーターが入る場合と直接交渉の場合がある。一之輔公演はプロモーターとの契約料金が委託料となっている。談春公演は直接交渉であり、通常では実現困難な破格の条件で依頼している。 ・令和８年度事業計画（案） （事務局）令和８年度ハストピア事業計画（案）の説明 （委員） 創造事業をそろそろ企画すべきと提案。合唱や地元の題材を取り入れ、市民やサポーターも汗をかいて参加できる形が望ましい。令和 8 年度は 10 周年にあたるが、創造事業の計画は特にないのか確認。創造事業は市民とプロの共同制作や、市民同士の協働による新しい企画も含まれると考える。分野を超えた活動者同士の協働や、来場者参加型の企画も可能性としてある。シナリオをゼロから作るには大きな熱量が必要だが、活動者の力を活かす形での創造事業を期待。 （事務局） 令和 8 年度は 10 周年事業として、既存の事業に冠を付けて実施予定。創造事業については現時点で具体的な計画はない。 （会長） 創造分野の取り組みが不足している点を認識。市民参加型の創造事業を検討する必要がある。蓮田市の素材を発掘し、創造事業として活用できる可能性を探るよう呼びかけ。今後も委員からの提言を事務局へ寄せてもらいたいと要請。 （委員） 平日稼働率・企業利用について。公民館は企業利用ができないが、ハストピアは可能。企業研修や安全大会などで平日利用を広めるべき。

	（事務局） 既に医療関係会社や労組安全大会などで法人利用の実績あり。 （委員） アンケート・意向調査について。 （事務局） 紙アンケートは廃止。QR コードやチケット販売会社（E プラス）からの情報を活用。昨年度は未実施。 （会長） 10 周年を契機として、来場者への意向調査の実施し、次の 10 年に向け資料を残すことを検討。 （委員） 体育館、アリーナの方の進捗状況を。 （事務局） 総合市民体育館「パルシー」は現在工事中。完成予定は来年早々、令和 8 年 4 月からリニューアルオープン予定。ハストピア同様に自主事業を企画し、スポーツイベント（上尾メディックス女子バレーボール、埼玉ブロッコス、TT 埼玉など）も検討中。サブアリーナの完成により、メインアリーナ単独よりも効果が倍増する見込み。 （委員） 平日の稼働率向上や休日人気事業でも利益が出にくい点が課題。今後 10 年 20 年残していかなければならない施設。指定管理制度の検討状況は。 （事務局） 現在は直営で運営している。業者からの関心もあり、窓口での PR を受けるなど情報収集を進めている。パルシーのオープン後は、ハストピアと併せた一体的な維持管理の必要性を踏まえ、事業企画を進めていきたいと考えている。 （会長） 指定管理については運営協議会でも提案される内容になると考え、今後の検討を依頼 ６．その他 （事務局） 次回会議日程　他 ７．閉会　山田副会長